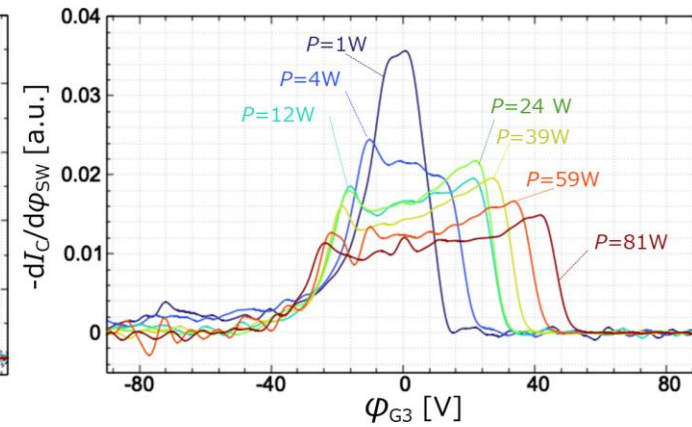
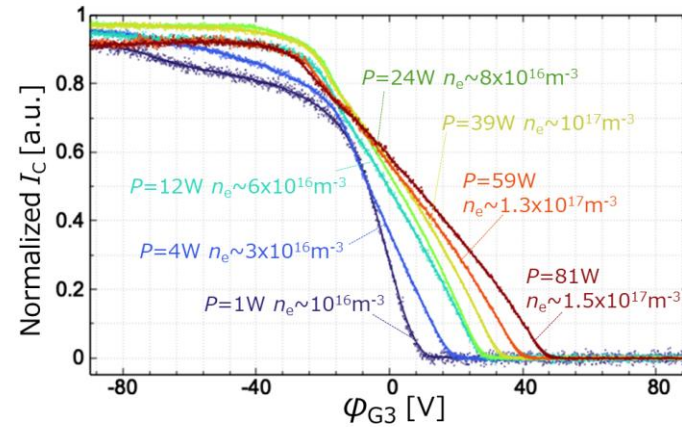


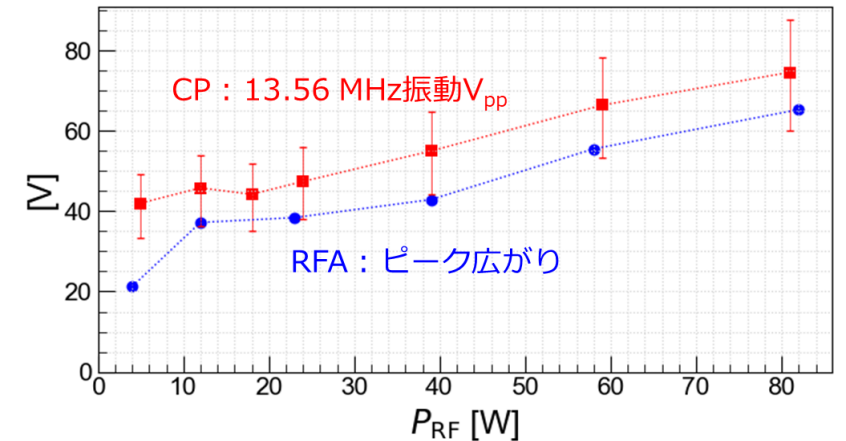
He 13.56MHz RF放電プラズマを対象に, Retarding Field Analyzer (RFA)によりイオン速度分布関数(IVDF)形状を評価



▶ 最大75eVもの広がりを持つIVDF形状を観測

- プラズマ電位のRF変調を考慮したモデルで定性的に再現される
- 容量性プローブによるプラズマ電位振動計測の結果ともよく整合

ピーク広がりが電位振動に起因することが明らかに



▶ RF補償RFAを開発, 初期結果を得た

- RF補償の有効性を示唆する結果
- 今後は改良を進める

